

# おでかけだより

新春号 NO. 44

平成27年1月1日

発行：NPO法人『おでかけサービス杉並』 発行責任者：樋口 蓉子  
〒167-0051 杉並区荻窪5-18-11サニーシティ荻窪103  
TEL 03-6425-8584 FAX 03-5397-1755  
<http://www7b.biglobe.ne.jp/~npo-odekake/>



## あけましておめでとう ございます

理事長  
樋口 蓉子

皆様には、お健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

おでかけサービス杉並も、2005年2月に事業を開始して、この2月には満10年となります。あっという間の10年でもあり、でもいろいろなことがあった10年でもあります。

おでかけサービス杉並のコンセプトは、『いつまでも元気に、そして、体に不自由を感じても、できるだけその人らしく住み慣れた地域で暮らせるように、誰もが暮らしやすい杉並のまちをみんなで力を出し合っつついていきます』です。この間、福祉有償運送としての「移動サービス事業」を中心にしながら、杉並区よりの委託事業として「杉並区移動サービス情報センターもび〜る」の運営、高齢者の生涯現役を応援する「ゆうゆう館（桃井・善福寺）」の運営・管理、困った時のちょっとしたお手伝いをする「NEKO（ネコ）の手サポート」、そして昨年10月よりの地域の通い場として「オープンリビングけやきの見える家」と、様々な事業（活動）を拡げてきました。

昨年は、ゆうゆう善福寺館は3年を終わり2期目に向けての評価、桃井館は9年を終わっての再プロポーザルに挑戦し、それぞれ無事クリアしました。もび〜るも機能が拡充された「外出支援相談センター」としてのプロポーザルに応募して、年明けには結果が出ます。

そういう意味では、2015年はおでかけサービス杉並にとって、新たな飛躍の年になりそうです。これまで以上に一層の努力をしてみたいと思いますので、どうぞ皆様の変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、この一年が皆様にとりまして佳き年となりますよう、心より祈念申し上げます。



コーディネーター  
つうしん

手探りで始めた「ネコの手サポート」も少しずつ相談が増え、特に介護保険の見直しからか、ケアマネジャーや社会福祉協議会、ケア24からも様々な相談が寄せられるようになりました。

高齢世帯や一人暮らしの方へのちょっとした付き添いなどのお手伝いが主ですが、実際にサポートに入ってみるとそれだけで解決できない深刻な状況も垣間見え、私たちのサポートの限界を感じることもあります。また、運行予約を頂く電話の様子から、いつもと違う状況を感じ取ることもあります。そんな時、いかに頼りになる関係性を地域の関係団体と築いているかが大切だと思います。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。

コーディネーター 野口 恭子



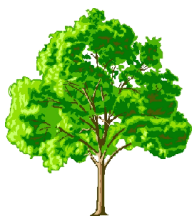
## ★ 報告 ★

# 神楽坂のまちを楽しむ

当日の11月2日は、心配だった雨も降らず穏やかな天候に恵まれ、参加者6家族11名は、それぞれの担当ドライバーが運転する車で神楽坂へ向かい、出版クラブ会館に集合。まずは2階貸し切り宴会室での昼食会。スタッフを含めた総勢21名で円卓を囲みゆっくりとおいしい料理を楽しみました。

さて、食事の次はいよいよまち歩きです。3つのチームに分かれ、会館から地蔵坂を下り、毘沙門天の境内へ移動。神楽坂は、坂あり石畳ありで、車いすでのまち歩きはなかなかハードルが高いのですが、地元ガイドが比較的歩きやすいところを選び、歴史ある裏道を、逸話を交え案内。見番、芸者新道、本多横丁、かくれんぼ横丁、軽子坂、兵庫横丁、見返り横丁と、粋なまちなみを巡りもとの毘沙門天へ。まち歩きの後は、一服のコーヒーと、お待ちかね買い物の自由時間。それぞれにお目当てのお店へ。当日は「まち飛びフェスタ」の催しも賑やかに開催されていて、「楽しかった！」の感想を残しながら皆さんそれぞれの車に分かれ、にこやかに帰途につきました。風情ある石畳の道も車いすの揺れは人によっては思ったより体に響いたり、又スタッフの車いす介助にも技術がさらに必要だったり、課題も見え今後の企画に生かしていきたいと思います。

[野口恭子]



## 「けやきの見える家」がオープンしました

おでかけだより秋号で「オープンリビングけやきの見える家」オープンのご案内をしましたが、計画どおり10月2日にオープニングイベントを行い、10月9日から毎週木曜日の午後、子どもたちも含めたご近所のみなさまの「通い場」としてのサロンを行っています。少し遠方からタクシーでいらっしゃる方もおられます。

昨年中に計12回オープンし、1回当たりの参加者はご利用者19名、スタッフなど14名、平均計33名の方々にお越しいただいています。

月に1~2回は催しを企画し、これまでに落語やハンドマッサージ講座、地域（西荻、善福寺）の昔話や珍しいチェンバロの演奏会などを行ってきました。また、西荻・善福寺地域の社会資源マップづくりにも取り組んでいます。毎回お茶と、スタッフが心を込めてつくったお菓子を味わいながら、いくつかのグループに分かれての和気あい

あいとした懇談の輪が広がっています。ケア24善福寺のスタッフや保健師の方にも月2回は参加頂いており、その際には介護や健康上の相談をされる方もおられます。まだ始まったばかりの「けやきの見える家」ですが、地域のホッと楽しく「通い場」として息長く続けていきたいと考えています。おでかけサービスのご利用者のみなさまにも、是非お越しいただきたいと願っております。

[樋口 厚]

